



Your dreams. Woven together.

## 第41期 第2四半期報告書

2016.7.1 >>>> 2016.12.31



 Your dreams. Woven together.  
**朝日インテック株式会社**

証券コード:7747



代表取締役社長 岩田昌彦

中期経営計画『Global Expansion 2018』に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

売上高は海外市場を中心に、引き続き需要が好調に推移し増収となりました。

2017年6月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、メディカル事業の海外売上高を中心に引き続き需要が堅調に推移し、前年同期比2.3%増の20,403百万円となりました。

メディカル事業は、為替動向及び医療償還価格の下落の外部要因影響があるものの、国内・海外市場ともに

需要は堅調であり、順調に推移しました。中でも、主力製品のPTCAガイドワイヤーや貫通カテーテル、及び末梢血管系領域のペリフェラルガイドワイヤーの売上数量が増加傾向にあり、海外を中心として引き続き好調に推移しました。

デバイス事業は、医療部材につきましては米国向けの末梢血管系治療用カテーテル部材の供給などが増加したものの、為替影響を受け、売上高は減少、産業部材につきましては、国内の家電関係の取引が増加したものの、米国向けレジャー取引の減少や為替影響を受け、売上高は減少しました。

営業利益は販売費及び一般管理費が増加したものの、好調な売上高に比例し増益となりました。

営業利益は、研究開発費や海外市場における販売・マーケティング強化に伴う営業関係費用の増加により、販売費及び一般管理費が増加したものの、3.4%増の5,884百万円となりました。

経常利益は、為替差益の増加や固定資産売却益の減少から、8.3%増の6,187百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、4.2%増の4,245百万円となりました。

中計の連結売上高目標を前倒しで達成、成長戦略を引き続き進めます。

当社グループは、現在進行している中期経営計画『Global Expansion 2018』において、「グローバル規模での収益基盤の強化」「患部・治療領域の拡大と製品ポートフォリオの拡充」「素材研究・生産技術の強化に

よるイノベーション創出」「グループマネジメントの最適化」を経営戦略に掲げ、企業価値向上に取り組んでおります。本計画では2018年6月期の連結売上高目標を400億円としておりますが、2016年6月期に2年前倒しで、ほぼその水準を達成しました。長期的な目標の1,000億円に繋げる新たな中期経営計画につきましては、然るべきタイミングで公表することを予定しております。

当第2四半期連結累計期間においては、日本市場では当社の事業領域として新たな分野である胆管・膵管・消化管分野の内視鏡ガイドワイヤー「M-Through™ (エムスルー)」の販売を開始しました。海外市場では、日本市場で既に販売し高い評価を得ている循環器系領域の貫通カテーテル「Caravel(カラベル)」やPTCA

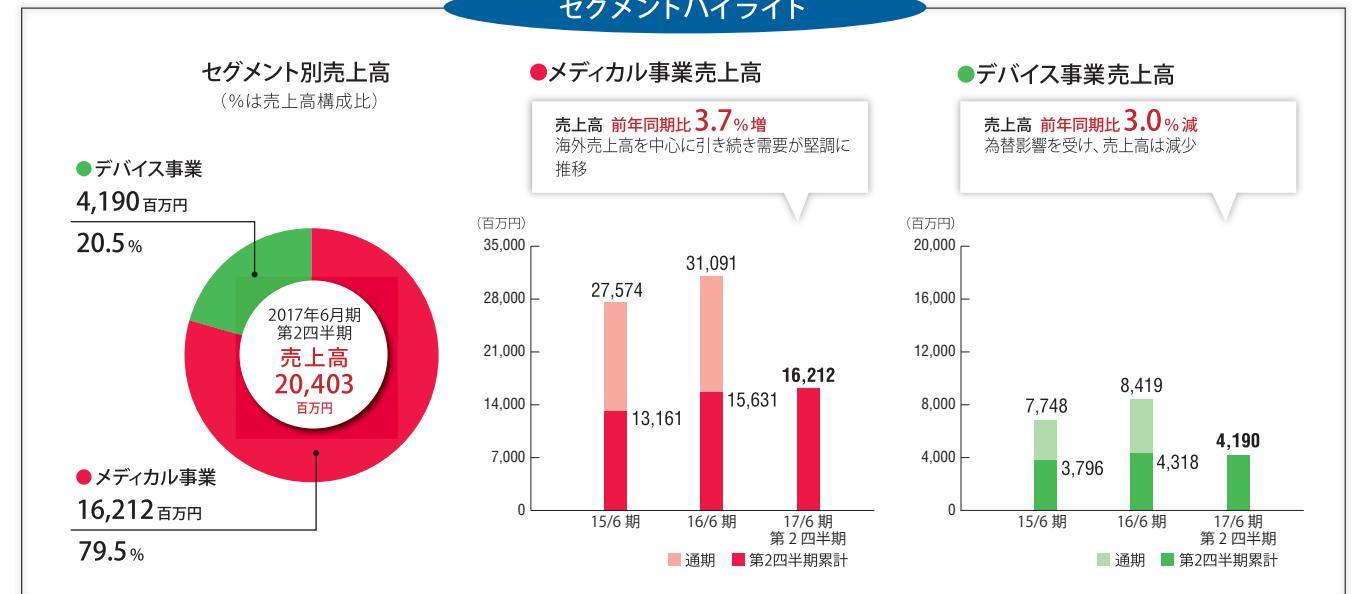
ガイディングカテーテル「Hyperion(ハイペリオン)」を欧州市場で販売開始し、中国市場では循環器系領域の製品について複数代理店に販売する方式に販売戦略を変更しました。

また、当社グループの金型・射出成形などの精密加工技術の開発の中心拠点として、2018年7月を目処に、新たに「東北R&Dセンター」を設立することを決定しました。さらに同月、研究開発拠点である瀬戸工場の敷地内へ新社屋を建設し、臨床現場に近い研究開発環境整備を実現します。また、本社機能を移転集約することで、事業の連携強化と効率化を図ります。

今後におきましても、中期経営計画に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

2017年3月

セグメントハイライト



現在進行中の中期経営計画『Global Expansion 2018』では、基本方針の1つに「素材研究・生産技術の強化によるイノベーション創出」を掲げております。この実現に向け、2018年7月に「新社屋(本社移転・研究開発拠点の拡充)の建設」と「東北R&Dセンターの設立」を決定しました。

## 「新社屋(本社移転・研究開発拠点の拡充)の建設」

研究開発拠点である瀬戸工場の敷地内に新社屋を建設し、研究開発機能を充実させることに加えて、本社機能を移転集約することで、事業の連携強化と効率化を図ってまいります。新社屋の建設の目的の詳細につきましては、右ページをご覧ください。

## 「東北R&Dセンターの設立」

金型・射出成形などの精密加工技術の開発の中心拠点として、新たに東北R&Dセンターを設立します。精密加工技術の高精度化を追求することで、次世代の医療機器デバイスの開発力がさらに向上し、ナンバーワン製品・オンリーワン製品の研究開発にも大きく寄与できると考えております。

## 東北R&Dセンターの設立



設立の目的

### ● 精密加工技術の中心的開発拠点の確立

- ▶これまで金型・射出成形の開発設計・製造を担ってきた当社連結子会社トヨフレックス(株)十和田工場の既存技術を新拠点に移転
- ▶新拠点での人員・新規加工設備の増強により金型製作の技術力・対応力を強化
- ▶青森・東北の優秀なエンジニア人材を継続採用することにより、持続的な技術成長を実現

トヨフレックス十和田工場

精密加工技術  
(金型・射出成形技術)

技術移転

東北R&Dセンター

既存技術の移転 + 新規増強

所在地：青森県八戸市北インター工業団地二丁目100番26号  
 事業内容：金型・射出成形などの精密加工技術の研究開発・製造など  
 設立時期：2018年7月(予定)  
 土地面積：約10,019㎡  
 建屋面積：約2,500㎡(予定)  
 投資金額：約12億円(土地・建物・設備)  
 従業員数：当初20名(うち新規地元雇用10名)



## 新社屋(本社移転・研究開発拠点の拡充)の建設



建設の目的

### ● 本社機能の移転に伴う事業の連携強化と効率化

- ▶新社屋を医療機器製品の研究開発拠点である瀬戸工場の敷地内に建設
- ▶既存の本社機能の移転集約で、事業の連携強化と業務の効率化を図る

### ● 研究開発環境の充実

- ▶カテーテル手術のシミュレーション室などを設置
- ▶より臨床現場に近い研究開発を実現できる環境の整備と充実を実現

### ● 従業員数の増加に伴う機能の拡充

- ▶「全世界でのASAHIブランドの確立」に向け研究開発機能を拡充、優秀な人材の積極採用を展開し従業員数は増加傾向
- ▶新社屋の建設に伴い、瀬戸工場においては最大約1,700名を収容可能(2017年1月末時点：454名(本社：82名/瀬戸工場：372名))

臨床現場に近い  
研究開発環境



▲カテーテル手術のシミュレーション室  
四方の壁と天井に鉛板を仕込むことで、周囲にX線が漏れることを防ぐ

所在地：愛知県瀬戸市曙町3-100  
 構造：重量鉄骨造 地上7階建  
 建築面積：2,000㎡(約600坪)  
 延床面積：14,000㎡(約4,000坪)  
 投資金額：約45億円  
 建設の日程：2017年8月工事着工(予定)  
 2018年7月竣工(予定)

### ● 働きやすいオフィス環境の実現

- ▶これまで無かった託児所や社員食堂などを開設予定
- ▶従業員の福利厚生が大幅に向上し、働きやすいオフィス環境を実現

### ● Asahi-Intecc History Space (仮称)の開設

- ▶当社の歴史(歩み)や製品開発の歴史を展示するスペースを開設
- ▶当社の成長の軌跡や技術者の想いに触れ、創業以来培った朝日インテックのDNAを継承

### ● 既存本社の活用

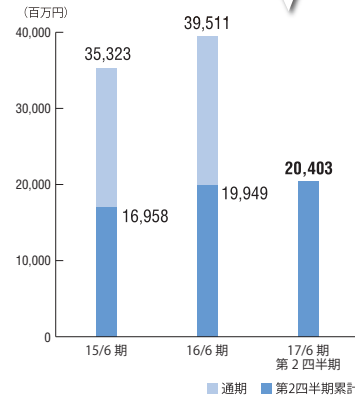
- ▶当社子会社及び営業部門などが活用する予定であり、固定資産の減損処理は未発生

# 連結財務データ

## 売上高

売上高 前年同期比 **2.3%** 増

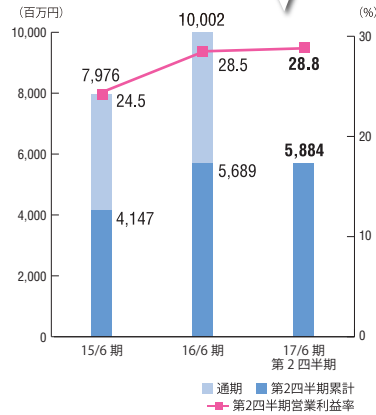
メディカル事業の海外売上高を中心に引き続き需要が堅調に推移し、増収となりました。



## 営業利益／営業利益率

営業利益 同 **3.4%** 増

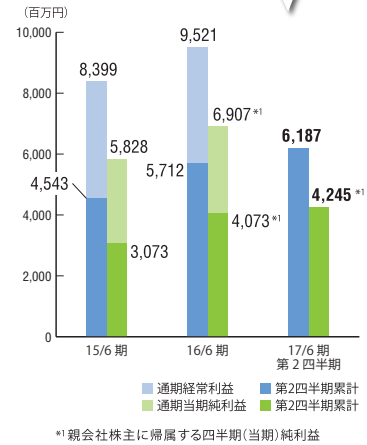
研究開発費や海外市場での販売・マーケティング強化に伴う営業関係費用の増加により、販管費が増加したものの、好調な売上高に比例し、増益となりました。



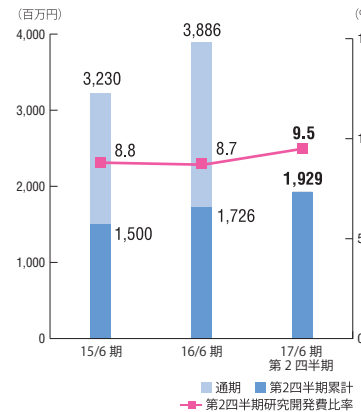
## 経常利益／四半期(当期)純利益

経常利益 同 **8.3%** 増 四半期純利益 同 **4.2%** 増

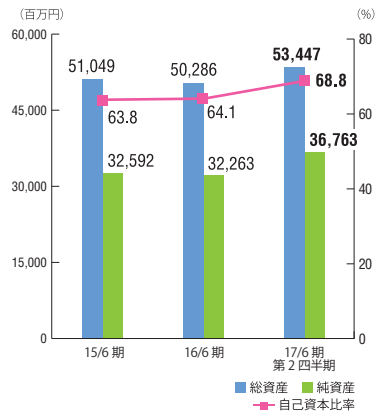
固定資産売却益が減少したものの、為替差益が増加したことなどにより、増益となりました。



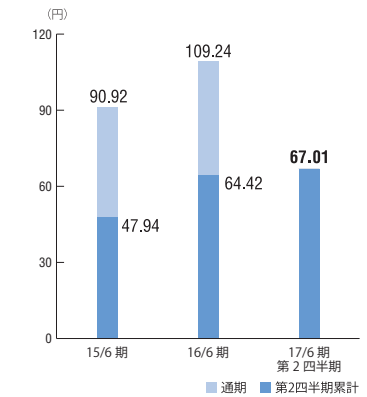
## 研究開発費／研究開発費比率



## 総資産／純資産／自己資本比率



## 1株当たり四半期(当期)純利益\*2



\*2 当社は、2015年8月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。このため、2015年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

# 会社情報／株式情報 (2016年12月31日現在)

## 会社概要

商号 朝日インテック株式会社 (ASAHI INTECC CO., LTD.)  
 設立 1976(昭和51)年7月8日  
 資本金 45億8,704万円  
 従業員数 連結 5,606名 / 単体 532名  
 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第二部)  
 名古屋証券取引所(市場第二部)  
 主な事業内容 ①主に血管内治療に使用される低侵襲治療製品(ガイドワイヤー・カテーテル)の開発・製造・販売  
 ②医療機器分野および産業機器分野の部材等の開発・製造・販売

## 役員

代表取締役社長 ..... 宮田 昌彦  
 代表取締役副社長 ..... 宮田 憲次  
 常務取締役 ..... 加藤 忠和  
 取締役 ..... 湯川 一平  
 取締役 ..... 寺井 芳徳  
 取締役 ..... 松本 宗近  
 取締役 ..... 伊藤 瑞穂  
 取締役 ..... 伊藤 清道\*1  
 取締役 ..... 芝崎 晶紀\*1  
 取締役(監査等委員) ..... 渡辺 行祥  
 取締役(監査等委員) ..... 佐藤 昌巳\*2  
 取締役(監査等委員) ..... 大林 敏治\*2

\*1 取締役伊藤清道、芝崎晶紀は、社外取締役であります。

\*2 取締役(監査等委員)佐藤昌巳、大林敏治は、社外取締役(監査等委員)であります。

## 株式情報

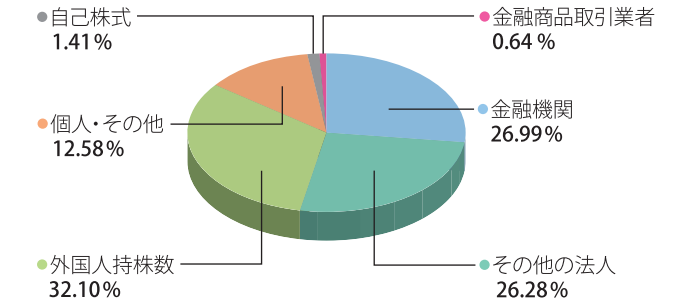
発行可能株式総数 200,000,000株  
 発行済株式の総数 64,389,400株(自己株式911,890株を含む)  
 株主数 5,441名

### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
アイシーエスピー(有)	5,098,000	8.03
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	5,009,900	7.89
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	3,283,900	5.17
MMK(株)	3,092,000	4.87
(株)ハイレックスコーポレーション	2,400,000	3.78
宮田昌彦	1,672,000	2.63
宮田憲次	1,561,200	2.45
野村信託銀行(株)(投信口)	1,394,100	2.19
(株)ホギメディカル	1,333,200	2.10
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	1,313,600	2.06

(注) 持株比率は、自己株式(911,890株)を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



## 事業所 (2016年12月31日現在)

### ▶ 国内事業所

営業拠点	東京	東京都港区
	大阪	大阪府和泉市
メディカル事業部	瀬戸工場	愛知県瀬戸市
デバイス事業部	大阪R&Dセンター	大阪府和泉市
ジーマ事業部	ジーマ研究センター	静岡県袋井市

### ▶ 海外事業所

EU支店	オランダ	アムステルダム
中東支店	アラブ首長国連邦	ドバイ
シンガポール支店	シンガポール	ユナイテッドスクエア
香港支店	中国	香港
インド支店	インド共和国	ハリヤナ州
韓国支店	韓国	ソウル(特別)市

### ▶ 連結子会社

ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.	タイ	パトゥムタニ県
ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.	ベトナム	ハノイ市
ASAHI INTECC USA, INC.	アメリカ合衆国	カリフォルニア州
朝日英達科贸(北京)有限公司	中国	北京市
朝日インテックJセールス株式会社	東京都	港区
フィルメック株式会社	愛知県	名古屋市中区
トヨフレックス株式会社	東京都	新宿区
TOYOFLEX CEBU CORPORATION	フィリピン	セブ州

## 株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
公告方法	当社ホームページ

<http://www.asahi-intecc.co.jp/> に掲載します。

但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒463-0024 愛知県名古屋市中区協田町1703番地 Tel:052-768-1211(代) Fax:052-768-1221

<http://www.asahi-intecc.co.jp/>